

教科に関する調査の設問別分析結果

福山 地域 問題 平成21年度基礎・基本定着状況調査 中学校国語 五 記述2

【出題の趣旨】

1 意見文を書く際に必要な条件を理解し、その条件に照らし、二つの意見文の表現の仕方に注意して内容をとらえ、適切な意見文を選びその理由を書くことができるかどうかをみる。

2 論理の展開に着目し、評価・批判することができるかどうかをみる。

【学習指導要領の内容・領域】

B 書くこと

イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。《事柄や意見》(第一学年)

カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てる」と。《評価・批評》(第二学年及び第三学年)

5 田中さんのクラスでは、敬語の使い方について話し合いました。「敬語は日ごろから使うべきだ」「敬語は改まった場面だけで使えばよい」という二つの意見がありました。そこで、どちらがよいかについて意見文を書くことにしました。次のアとイの二つの文章は、どちらも「敬語は日ごろから使うべきだ」という主張をしている意見文ですが、どちらの文章が意見文として適切でしょうか。アとイを読み比べて、

【注意】にしたがって書きなさい。

意見文ア(略)

【注意】

意見文イ(略)
題名は書かずに、本文から書き始めること。
アとイのどちらがよいかを書いた後に、理由を書くこと。

理由は二つ以上書くこと。

理由はアとイを比べた内容にすること。

適切な段落を設けて書くこと。

一六〇字以上二〇〇字以内にまとめて書くこと。

	通過率
本校	57.9%
広島県	56.9%

解答類型	1	2	3	4	5	6	7	9	無解答
本校の割合(%)	23.4	3.7	30.8	12.1	8.4	4.7	1.9	8.4	6.5

正答の条件：適切な理由として、問題文の意見と根拠を含む二つ以上の理由を挙げている。(類型1) 適切な理由として、類型1以外について二つ挙げている。(類型2)
準正答：理由を二つ以上挙げているが一つのみ合っている。

この問題を解くために必要な力

- 意見文を書く際に必要な条件を理解する力。
- 意見文を書く際に必要な条件に照らして、文章の内容及び表現の仕方を評価・批判する力。
- 理由を明確にして書く力。

誤答分析

- 解答類型5より、適切な理由を1つしか挙げるができない。
- 解答類型6より、本文の引用だけで、次に続く説明がない。比較するという意味が理解できていない。
- 無解答より、何をどのように書いてよいか分からない、もしくは、問題を見ただけで、やる気が起きない、意見文の型が分かっていない等が考えられる。

以上のことから、意見文を書く際の必要な条件を十分に理解できていない、その条件と具体的な文章の事柄と照らし合わせるができない、二つの文章を比較して批判的に読むことに慣れていない、意見を根拠を挙げて書くことが不十分であるということが考えられる。

指導改善のポイント

福山 地域 問題

平成21年度基礎・基本定着状況調査 中学校国語 五 記述2

【単元名】新聞の特徴を生かして書こう (第3学年)

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- ・意見文を書く際に必要な条件を理解する力。
- ・意見文を書く際に必要な条件に照らして、文章の内容及び表現の仕方を評価・批判する力。

【指導上の課題】

- ・文章を書く際に必要な条件を理解させる指導の工夫が十分でなかった。
- ・文章を書く際に必要な条件に照らし合わせて、評価・批判したりして書かせたり推敲させたりする指導が十分でなかった。

指導改善のポイント

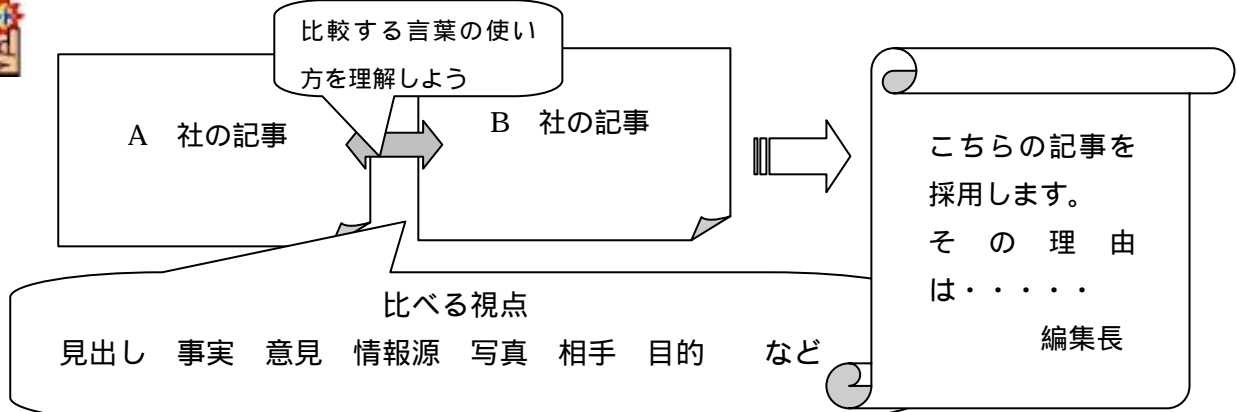
批判的読みを取り入れた書く活動

【指導の工夫】

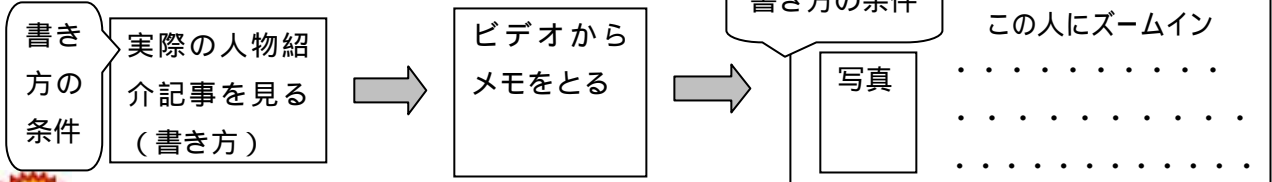


編集長なら二つの記事のどちらを採用するか、比べて読み、書き手の意図や内容を考える。
インタビューの様様を視聴し、それを基に、人物紹介の記事を書く。
書いた人物紹介の記事を比べ合い、書き手の意図や伝える内容の違いを読み取る。

二つの新聞記事の内容や写真を視点を示して、比較させ、書き手の意図を考える。



教頭先生への代表インタビューの様様を視聴し、記者になって、「この人」という教頭先生紹介記事を書く。



友達と自分の書いた記事を読み比べ、自分の表現の参考にする。

同じビデオを見たのに見出しの作り方もこんなにバラエティーだね

どんなことを中心にするかで、内容も微妙に違うね

中学校第3学年国語科学習指導案

単元名：新聞の特徴を生かして書こう

単元について

中学校学習指導要領解説（国語編）の「書くこと」の《構成ウ》の指導において、「だれに、どんな目的で、どんな内容を伝えたいのかを明確にして構成を工夫する必要がある。相手意識や目的意識を明確にしてその時の常態や推移などを正確に伝える」とある。また「読むこと」の《情報の活用オ》の指導において、「情報の活用」についての事項がある。必要な情報を得るための「読み方を身に付ける」ことや「収集した情報を取捨選択をしたり加工したりすることで自分の表現に役立てる」とある。

本単元は、1年生「わかりやすく説明しよう～情報を選ぶ」、2年生「人物紹介パンフレットをつくろう～情報を編集する」と続く情報の活用に関わる単元である。3年生では、『握手』でルロイ修道士の人物像の学習のまとめとして、ルロイ修道士の人柄が分かる記事を配置を考えて「ルロイ修道士新聞」を班で作成した。ここでは、まず、題材が同じである二つの新聞記事を、事実の取り上げられ方や表現等から読み比べ、書き手の意図により報道される内容が違ってくるところをとらえさせる。次に、同じ題材から、相手意識や目的意識をもって必要な情報の選択、構成、表現を工夫して人物を紹介する記事を書く。完成した記事は、友達と交流して、同じ題材であるのに、書き手の意図が違っていると、記事の中身も違ってくると実感させる。さらに記事を、学年だよりに掲載したり廊下の掲示板に貼り出したりして、発信する。ここでの学習は、『メディア社会を生きる』という説明文の内容にも関連させていく。

調査結果からみる課題

主として「基礎・基本」に関する問題 平成 21 年度基礎・基本定着状況調査 中学校国語 五

記述 2

(1) 問題の概要

意見文を書く際に必要な条件を理解し、その条件に照らして二つの意見文の表現の仕方に注意して内容をとらえ、適切な意見文を選びその理由を書くことができるかどうかをみる。

(2) 出題の趣旨

次の力をみる問題である。

意見文を書く際に必要な条件を理解する力。

意見文を書く際に必要な条件に照らして、文章の内容及び表現の仕方を評価・批判する力。

理由を明確にして書く力。

(3) 誤答の分析

意見文を書く際の必要な条件を十分に理解できていない、その条件と具体的な文章の事柄と照らし合わせるができない、二つの文章を比較して批判的に読むことに慣れていない、意見を根拠を挙げて書くことが不十分であるということが考えられる。

(4) 指導上の課題

文章を書く際に必要な条件を理解させる指導の工夫が十分でなかった。

文章を書く際に必要な条件に照らし合わせて、評価・批判したりして書かせたり推敲させたりする指導が十分でなかった。

指導改善のポイント

(1) 指導内容・指導方法について

ア 同じテーマの二つの記事を比べて読み、書き手の意図や内容を考える。

比較する観点を与えて、二つの記事の伝えようとしていることの違いをまとめる。また、それぞれの記事がどのような意図で編集されているかを話し合う。その後、自分が編集長であったなら、どちらの記事が相手に分かりやすいと考えて採用するか、分析をもとに、その理由を書かせる。

イ インタビューの様態を視聴し、それをもとに、人物紹介の記事を書く。

実際の新聞の人物紹介の記事を数種見せて、どのような書き方をしているか、見出しの工夫やテーマ、内容等を分析し、書き方を学習する。学校の生徒や保護者が読み手という設定で、教頭先生へのインタビューの様態をメモを取りながら視聴し、情報を集め、教頭先生の人物紹介記事を書く。

ウ 書いた人物紹介の記事を比べ合い、書き手の意図や伝える内容の違いを読み取る。

教頭先生の人物紹介の記事を友だちと交流し合い、書き手の意図による記事の内容や伝え方の違いを学び合い、自分の表現に生かす。

(2) 3教科共通のとりくみについて

考える時間を十分にとる。

自分の考えを書いてまとめる時間をとる。

自分の意見を友達と交流して、相違点に気付く。

単元の目標

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
新聞の紙面構成を調べたり特徴を調べたり、他者の記事と比べたりして新聞に興味や関心を持ち、進んで記事を書こうとしている。	インタビューのメモを参考に、情報を取捨選択し、読み手を意識して、見出し・構成・内容・表現を工夫して人物紹介記事を書いている。	新聞記事を表現の仕方や文章の特徴に注意して読み比べ、同じ題材でも書き手の意図によって内容が異なることを理解している。	相手に分かりやすい表記や語句を選んだり、使い方に気をつけたりして記事を書いている。分析するときを使う言葉を使って記事を比較している。

指導と評価の計画

(全7時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	書	読	言	評価規準	評価方法
一	・新聞の紙面構成の特徴を見つける。 (1)					・新聞の紙面構成を調べたり特徴を見つけたりするなど、新聞に対する興味をもっている。 ・新聞の各記事の要素や役割について理解している。	ワークシート

二	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの記事を読み比べ、書き手の意図や内容について話し合う。 <p>(1)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・同じ題材の新聞記事を表現の仕方や文章の特徴に注意して読み比べ、書き手に意図による内容の違いをとらえている。 ・分析するときを使う言葉を使って記事を比較している。 	ワークシート
三	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の人物紹介記事を複数読み、人物紹介記事を書くための工夫について考える。 <p>(1)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介記事の見出しの書き方、構成、引用、文章の表現の工夫について分析している。 	ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューのメモから情報の取捨選択をし、記事を書く。 ・下書きを読み合い、改善点を考え、推敲する。 ・記事を清書する。 <p>【本時 1 / 3】 (3)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介記事を書くための情報を整理している。 ・見出し、構成、内容、表現の仕方を工夫して人物紹介記事を書いている。 ・書いた記事を読み返し、整えるとともに、友達の記事の工夫点を見つけている。 ・相手に分かりやすい表記や語句を選んだり、使い方に気をつけたりして記事を書いている。 	ワークシート
四	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と人物紹介記事を交流し観点に基づいて評価する。 <p>(1)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・友達の評価を読んで、書いて伝え合うことのよさを味わっている。 	ワークシート

太枠部分が課題となる力を特に育成する時間

本時の学習

(1) 本時の目標

インタビューから、記事に必要な情報を集め整理することができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 本時のめあてを確認する。			
<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介のために要素を確認する。 		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時のめあて】 インタビューから、教頭先生の人物紹介記事のための情報を集め、整理することができる。</p> </div>			

2 インタビューの様様をメモしながら視聴する。

T) 教頭先生へのインタビューの様様をビデオで観ましょう。記事を書くための情報をワークシートにメモしましょう。

おおまかなインタビューの話題を知る。

質問1 子どものころの夢

質問2 今の職業について

質問3 向丘中でやってみたいこと
どのようなインタビューかイメージをしてみる。

ビデオを観ながらメモをする。

生徒の反応

メモ用紙

質問1 テーマ(子どものころの夢)

宇宙飛行士 → 10歳ごろ
アポロ宇宙船の打ち上げ

- ・記事の読み手は生徒や保護者であることを伝える。

- ・メモ用のワークシートを配る。

3 メモから、どんなことを中心に記事を書くか考える。

T) 読み手はどんなことに興味をもつだろうか、集めた情報からどれを選択するか考えましょう。

教頭先生への大きな3つのインタビューから1番書きたい内容を決める。

中心がきまったら、そのインタビューの中の事実を整理する。

生徒の反応

事実

10歳の頃 宇宙飛行士になりたい

理由は……だから。

そのために、雑誌をたくさん買っていた。

毎朝マラソンをして鍛えていた。

現在は教師

- ・質問1～3を総合して書いてもよいことを伝える。

- ・教頭先生のいいところを探して書く、教頭先生がもらってうれくなるような紹介文を書くようにアドバイスする。

- ・どうまとめてよいか分からない生徒には、インタビューの内容を報告するような書き方を示す。

- ・人物紹介記事の例を示す。

例1

(結論)

教頭先生は……という人だ。

(詳しくいうと)

……のようなエピソードがある。

「……」のようなことも言っておられた。(引用)

(自分の感想も入れる)

……と思いました。

……と感じるすてきな人です。

人物紹介記事を書くための情報を整理している。

ワークシート

	<p>例 2 (教頭先生の簡単なプロフィール) (自分が知らせたい事柄) インタビューから . . . (結論) 教頭先生はこんな人です。</p>		
--	--	--	--

4 今日のまとめをする。

T) 教頭先生の人物紹介記事の下書きを考えてきました。次回はこの続きをします。見出し・構成・表現の工夫を考え、実際に下書き用紙に書いてみましょう。

<p>今日の活動の感想をまとめる。</p> <p>次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(1) 今日やったこと (2) 一番勉強になったこと。の視点でまとめさせる。 ・時間があれば、今日の学びを交流させる。 		
--	---	--	--

評価問題等による検証

- 1 二つの文章を比較して、相違点を説明する文章の記述の分析
- 2 完成した人物紹介記事の分析 (見出し・構成・表現の工夫)